

会 議 録

☐ 全部記録 ☒ 要点記録

1 会 議 名	第 1 回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議
2 開催日時	令和 6 年 8 月 1 0 日（土曜日） 1 8 時 0 0 分～1 9 時 5 0 分
3 開催場所	津田公民館
4 出席者又は欠席者名（敬称略）	（出席者）津田地区連合自治会加茂自治会：吉田達生会長、土島広紀副会長、本間忠副会長 〃 今在家自治会：井上清勝会長、藤原昭一副会長 〃 構自治会：三木章司会長、木村正副会長、渡邊浩副会長 〃 思案橋自治会：山本道人会長、東龍太副会長、鴨川敏之役員 英賀保地区連合自治会：魚田政敏会長、西川茂樹副会長 飾磨橋西地区連合自治会：野口照男会長、達賀善忠副会長 飾磨橋東地区連合自治会：大野光生会長、野田勝也副会長 （欠席者）津田地区連合自治会今在家自治会 八木実副会長、井上秀昭副会長 （事務局）農林水産環境局長、環境事業推進室長、環境事業推進室主幹 2 名、環境事業推進室 4 名
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 2 名
6 議題又は案件及び結論等	報告 1 建設予定地の現況について 2 事業の進捗状況について 3 事業スケジュールについて 議事 1 新美化センターの概要について 2 新美化センターの環境基準等について 3 生活環境影響調査について

4 交通量調査について

5 付帯施設、地域活性化・地域環境整備について

7 会議の全部内容又は進行記録

詳細については別紙参照

第1回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議 会議録（内容）

- 1 局長挨拶
- 2 報告
 - （1）建設予定地の現況について
 - （2）事業の進捗状況について
 - （3）事業スケジュールについて
- 3 議事
 - （1）新美化センターの概要について
 - （2）新美化センターの環境基準等について
 - （3）生活環境影響調査について
 - （4）交通量調査について
 - （5）付帯施設、地域活性化・地域環境整備について

会議の記録

●報告

報告（1）、（2）、（3）について事務局より説明。

●議事

議事（1）、（2）、（3）、（4）について事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：焼却灰については、フェニックスへの埋め立てという理解で良いか。

事務局：処理方式決定後に整備基本計画検討委員会の審議事項とする。進捗があれば当会議で順次報告する。

出席者：新美化センターには粗大ごみや大型ごみを破砕する設備は設置せず、1日5t未満の破砕設備を設置する可能性があるという説明であったが、この設備はどのようなものか。現在、家庭から出た木材などはエコパークまで運んでいるが、新施設に同様の設備が設置されれば、運ぶ距離が短くなり非常にありがたい。

事務局：家庭から出る木材などの粗大ごみを対象とした設備ではなく、受入れの可能性がある災害廃棄物などを破砕する目的で設置するものである。

座長：生活環境影響調査の調査、計測については、どの時間帯を想定しているのか。

事務局：調査回数は資料に記載のイメージで実施する予定だが、具体的な時間帯については現時点で

は未定である。

座長：津田地区の住民からばいじんがひどく窓が開けられないという声を聞く。どの施設から排出されているものなのか調査してほしい。また、参考のために夜間の時間帯も計測してほしい。

事務局：大気中の浮遊物質については、公共施設などに期間中毎日調査機器を設置し、一定期間連続して調査を実施する。調査場所については、環境影響調査のコンサルタントと調整し決定する。生活環境影響調査は、新しい施設が今の環境にどれだけの影響を与えるのか、その影響が環境基準を満たしているのかを調査することが目的である。

出席者：1.5 キロ離れた西浜第一公園で測定するとなっているが、降下ばいじんを測定するものか。また、現状と施設稼働後の差を測定するものか。

事務局：今挙げている測定場所はあくまでも想定である。具体的な測定場所は、受注した環境影響調査のコンサルタントと協議して決定するが、飾磨の測定局等のデータを確認し、一番影響がありそうな場所で調査を行うつもりである。また、西浜第一公園で想定しているのは排ガスによる影響の調査を考えてのことである。

出席者：大気質と降下ばいじんは、測定しなければならない大事なことだと考えている。製鉄所関連で毎月1回降下ばいじんについて調査をしており、同様の調査をされるのかと思い質問した。まだ設備が具体的なものではないので、これから色々と考えていければと思っている。

出席者：新聞でも報道されていたエコパークあぼしでのダイオキシン発生について説明がなかったが、高温で処理しなかったことが原因なのか。また、発生したダイオキシンの後始末はどうする予定か。もし新美化センターでダイオキシンが外に漏れるなどした場合には大変なことになるので心配している。

事務局：エコパークあぼしは、ダイオキシンをばいじんに封じ込めることで排ガスには全く出ないというシステムである。今回も排ガスの中にはダイオキシンは全く出ていないが、ばいじん中のダイオキシンの濃度がフェニックスでの埋め立ての基準値の倍の量となっていたため、受け入れがされない状況となっている。まだ調査中ではあるが、休炉からの立ち上げの際に温度管理がうまくいかなかったことが原因と考えられる。

出席者：焼却済みの灰は凝固剤のようなもので固めてフェニックスに運び処理するのか。

事務局：フェニックスの受入れが再開するまでは、フレコンバッグに入れてエコパークあぼし内の建屋の中に保管し、受入れの基準値を超えた分については、現在のエコパークあぼしのSPCが責任を持って処分する。排ガスのほうにダイオキシンが出ていないことが確認でき、その原因をつきとめ対策ができたため焼却を再開する予定であり、再開後は今まで以上にダイオキシンの調査を行っていく。

出席者：新美化センターの建設予定地は、ダイオキシンなどが地中に留まっている可能性はあるのか。今後調査する予定はあるのか。

事務局：旧南部美化センターの施設が残っており、解体工事の発注準備を行っている状況である。ダイオキシン等については現在調査中であり、発見されれば適正に除去処分を行う。

出席者：資料では新美化センターの処理能力が 1 日に 150 t から 250 t となっているが、住民説明会等では 268 t と説明してきたとのことだが、これはどういうことか。

事務局：令和 5 年 3 月に策定した新美化センターの整備基本構想の段階では 1 日の処理能力が 268 t であったが、新たなプラスチック製品の分別への対応や、令和 6 年 3 月の環境省からの通知で施設規模算定の計算式が変更となったことで、施設規模が小さくなる可能性があるため、今回は 150t からは 250t という幅を持たせた説明になっている。

出席者：中部析水苑の環境対策の会議に出席している。振動、粉塵、大気汚染などは目に見える数字で出ているが、悪臭については検知無しと出ている。しかし実際は時間帯によって、し尿なのかタイヤなどを焼いているのか、そのような臭いを感じる。新美化センターから出る臭気については、臭気検知器のような技術でしっかりと調査をしてほしい。

事務局：大阪湾フェニックスなどの資料を見ても、測定の基準や考え方は現在定められているものに基づくものであり、現状はそのような方法しかないと考える。新美化センターはまだ検討の段階であるが、エアカーテンなどの臭い対策を行っていくことを想定しているので、どのような調査をすればよいかなどは当会議で相談しながら検討していきたい。

出席者：交通量調査について、今後、幹線道路や播磨臨海道路が整備されることにより、国道 250 号の交通量がどの程度緩和されるかという調査を行うとのことだが、新美化センターへの搬入車両の増加分を含めても 250 号の交通量が減少するとなった場合、新美化センターへの搬入路が今在家交差点から南に 1 本だけであるが、何も対策は考えないのか。

事務局：現実的に住宅や事業所など利用者が定まっている土地ばかりの中で、新たな搬入路の整備というのは非常に難しいと考える。しかし、夢前川の左岸の利用や既存の道路の拡幅なども視野にいれながら、地域の方々に納得してもらえるような対策がとれるのが一番の理想だと考えている。具体的な案を提案できないのは心苦しいが、道路事情について地域の強い思いや課題があるということは十分に認識している。

議事（5）について事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：資料 17 ページ「周辺地域の範囲（案）」について、英賀保と飾磨橋西と飾磨橋東については、一定距離内に存する自治会とある。連合自治会として、同じ連合自治会の中で範囲に入る単位自治会と入らない単位自治会があるのは不公平であると思う。一定距離内の単位自治会がある連合自治会内は全て対象にしてほしい。

事務局：地域の想いは十分に理解している。新美化センターの建設は、地域で受け入れたくないという方が多い事業であることは間違いがない。安全に生活していけるような方向で整備を進めるのであれば、新美化センター整備事業を機に地域を活性化させていくという理解があつて初めて進む事業であると考ええる。よって、受益ばかりではなく負担を受けている地域に、より手厚い受益となるようにと考えているが、予算にも限度があるため、優先順位は設定されていくのではないかと想定される。地域のためにできることを、住民と同じような一員としてしっかりと対話して進めていきたい。

出席者：資料２４ページ「検討スケジュール案」について、地域活性化施策や地域環境整備事業は、具体的にどのようなメニューを目指していくのか、国の補助額と市の持ち出し額がどれくらいであるかなど、把握できている範囲で説明してもらうことはできるか。

事務局：地域環境整備事業については、既存の制度を事例として紹介している。市の市民活動推進課所管で、公民館の整備を支援する制度があるが、予算も抑えられており、あまり規模的に大きなものではない。そこを制度拡充するという形で、公民館の空調関係や昇降機などをつけるような費用に充てることが出来る制度になればと考えているが、市の財政担当課と調整し、現状の制度より限度額や補助率を上げるなど、使いやすい制度を作っていきたい。

地域活性化施策については、事業計画を立て国の支援を活用しながら計画期間の５年の中で、姫路市と地域の方々が一緒に進めていくものになる。網干の場合、健康増進センター、あぼしまち交流館、中川堤防道路、このあたりが姫路市と地域の方で進めていった事業であり、このような形で津田校区をはじめ近隣地域の方々と一緒に進めていくことができればと考えている。

出席者：地域活性化施策は地域としてまとめていくことが望ましいということか。

事務局：それと場内での付帯施設、複合施設なのか、それらについても考えていただきたい。ただ、新施設の場内に集客施設を整備すると、交通量が増えるという側面が出てくる。それを受け入れて場内に集客施設を作るか、交通量が増えるなら集客施設はまた別の場所かと考えるかなども検討いただきたい。

出席者：新美化センターの北側の敷地だけでなく、地域を活性化するためにもっと広い範囲で、他の場所で検討する余地があるということか。

事務局：その通りである。新美化センターの場内、場外に関わらず、色々と提案してもらいたい。具体例の提示などは可能であるが、姫路市から内容を押し付けるつもりはなく、皆さまと意見交換していきたい。

出席者：過去に南部美化センターの北側の敷地を老人クラブのグラウンドゴルフ場として利用するために自治会が鍵を預かったことがあるが、高齢者が自転車で行くには遠く、暑い日などはおさら利用がない。結局、使わずじまいとなってしまった経緯がある。北側の敷地を使うの

であれば車で来場を前提としたものにしなければ、利用が増えることはないと考えられるが、そうすると交通量が増える。集客施設というのは周辺地域の中心部をうまく使うことを検討してもよいと認識すればよい。

事務局：そのような認識でかまわない。新美化センターの場内に集客施設を整備しても影響が限られるという考えもあり、そうすると地域の活性化には結びつかない。

事務局：地域活性化施策で国の補助金を活用するには、それぞれのメニューに沿っているかどうかが重要である。エコパークあぼしの場合は、交流人口を増やすための拠点施設という名目であぼしまち交流館や道路が出来たという経緯があり、そのようなシナリオでの補助であったと思われる。そのメニューにどう合うかで地域に必要なものを作っていくというところをすり合わせていきたいので地域から多くの意見を出してほしい。

出席者：国の補助メニューにはどういうものがあるのか、次の会議で何点か具体例を提示してほしい。補助率がどのくらいでどのような規模のものができるといようなイメージが湧くものであればありがたい。

座長：施設等の要望については、新美化センターの場内に作るパターンと他の場所に作るパターンと2つのパターンで検討していきたい。先日スポーツ21の会合に出席した際に、ソフトバレーの場所がない、グラウンドゴルフも小学校でなく別の公園を利用しているなどの意見があった。みなとドームのような大きなスポーツが出来る設備で、災害時には避難所として空調を備えた非常用の発電が可能な施設があればよいという意見も出た。能登半島地震では冷暖房がないような避難所に避難されていたとも聞いている。姫路市では来年度から体育館に空調を整備する話を聞いているが、今現在も災害は起こっている。

事務局：ごみの焼却施設なので廃棄物エネルギーの有効活用ができることを踏まえたうえで協議していただければありがたい。熱利用、熱水利用、電気利用、水素利用、メタン利用、CO₂の利用もでき、例えば、EVパッカー車やFCVのパッカー車などもある。先ほど小学校の体育館に空調の整備が進むという話があったが、それも停電が起きると使えない。新美化センターでは炉を立ち上げることさえできれば電気が作れるため、快適な入浴環境や衛生的なトイレの設置が可能である。ごみ焼却施設というだけでなく地域のみなさまに喜んでいただける施設を作っていきたい。避難所担当部署の話では、新美化センター周辺に住宅がないため、災害発生時の一時避難所や緊急避難所には該当しないが、大規模地震の際など、中長期的な避難が必要となった際の指定避難所として指定することは想定されるとのことであった。

座長：津田校区の人口は約14,000人で、第一次避難所の津田小学校、津田公民館、飾磨西中学校だけでは、災害の程度にもよるが、収容しきれないと思っている。この件については津田の4地区の自治会長で様々な視点から検討をしているところである。

また、話に出たようにグラウンドゴルフ場を整備するとしても、住宅地から距離があり交通

量も多く、年配の方々は行かないのではないかと思います。やはり、地域の道路の交通量が増えるのが一番の問題だと思っている。

出席者：播磨臨海地域道路が完成すれば交通量が増えると考えている。新美化センターができるとごみの搬入車両でさらに交通量が増えると想定されるので、道路状況、インフラなどを重視してもらいたい。新美化センターの付帯施設については、若年者層は利用があるかもしれないが、高齢者層が利用するかという疑問がある。

事務局：交通の問題が一番の課題であることは認識している。広畑幹線など交通事情の整理が進み、併せて播磨臨海地域道路が将来的に整備されることになっている。その様な中で我々が出来る範囲で頑張っていきたいと思っている。道路の整備、拡幅となると、住民が住まれている事業所があったりする土地がほとんどの中で、どこまでできるかというのは難しい部分があり、行政主導での道路整備というのはなかなか理解が得られにくい。飾磨地区だけでなくこの地域もそうではあるが、自身の慣れ親しんだ土地を簡単に手放すことが難しい話であるというのは十分に理解しているので、地域の中からここに道路を整備して欲しい、この場所を拡幅して欲しいというような話があれば情報提供してもらいたい。

出席者：播磨臨海地域道路の説明会では、完成すれば交通量は 40%減するという説明を受けた。新美化センターができると交通量が増加するのではと相談しても、その増加分も見込んだうえで、播磨臨海地域道路が完成する頃には交通量が減るという話であった。姫路バイパスは 200%の交通量であるのに 40%減ったとしても、まだ交通量が緩和されたとはいえないと考えるが、県と国の認識はそのようなものであった。

事務局：シミュレーションについては、国も県もきっちりとしているはずであるが、実際は結果が出てみないと分からない部分もあると思う。

出席者：国も県もシミュレーションはしている。新美化センターができて交通量が増えると話をしても、シミュレーション上は交通量は減るということで回答される。

事務局：市の交通計画で広畑幹線と夢前川右岸線が完成すれば、国道 250 号の交通量は 2 割か 3 割減るというシミュレーション結果がある。

出席者：そんなに交通量が減るとは思えない。

事務局：そのような意見もあるので交通量調査を実施したい。夢前川右岸線は令和 7 年度に、広畑幹線は令和 11 年度に開通予定である。これらに伴う経過を我々の交通量調査で調査できたらと考えている。市の交通計画は幹線道路を対象としており、皆さまが話をされている地域内道路の交通量については調査しないので、そのあたりを我々の方で調査できればと検討している。

事務局：交通量調査については、1 回限りではなく新美化センターが完成するまで、またそれ以降も継続し、その傾向を取りながら搬入経路や搬入時間などについて対応していきたい。国や県

は主要幹線道路をメインに考えているが、我々は主要幹線道路に付随した生活道路が一番重要だと考えている。調査の地点については、意見をいただければ追加していきたい。

出席者：自治会内の生活道路を大型車両などが通行し道路を傷めても、その修繕などに尽力するのは自治会である。国や県がシミュレーションしてという話があったが、そのようなことではなく自分事として捉えもっと親身になって考えて欲しい。国や県と住民の間に市が入ってまとめてもらいたい。

事務局：旧南部美化センター敷地内に現在、まち美化収集ごみや川溝清掃の土砂を仮置きしている場所がある。川溝の清掃の際に出た土砂やボランティア清掃のごみを回収し、分別したり乾燥させたりの作業をしている。まち美化担当課からは、収集効率などの観点から新美化センター建設後も継続して使用したい希望を聞いている。そのスペースを設けると場内での付帯施設に割く面積が減り、作りにくくなるというデメリットがある。市川美化センターの稼働を停止するのであれば、まち美化収集ごみ等はそちに運搬すればいいのではというような声もある。色々な考え方がるので意見を伺いたい。

出席者：中部析水苑の土地は使用できないのか。

事務局：土壌調査などを始めるので、現在、仮で太陽光パネルの隣あたりに置いているが、目的の違う施設になるので常駐は難しい。

出席者：中部衛生センターのグラウンドは使用されているのか。

出席者：英賀保地区のサッカーのクラブチームが土日祭日はほぼ使用している。平日は利用したいという声が無いので使用していない。

事務局：新美化センターの付帯施設で津田地区のクラブチームが使うグラウンドの整備をするという案もある。

出席者：今在家西交差点から新美化センターまでの道は1本しかなく橋が架かっている。その橋が崩落したり修理やメンテナンスなどで使えなくなった場合、思案橋の町内を通行し船場川の土手沿いを通るしか方法がない。そうすると周辺住民に大きな影響が出ると考えられる。

座長：そのようなことを踏まえて、市や県に対して新美化センターへの搬入経路が1本しかないので追加の道路を整備して欲しいという要望書を提出している。

以上